

海軍公報 附録

大正十三年七月十四日(月)
海軍大臣官房

○ 雑款

○ 圖書

去ル六月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍省文庫)

和漢書ノ部

第一門

化學兵器(毒瓦斯物語) 海軍教授齋藤定藏述 大正十三 雜九六

第二門

損害賠償とは何うして取るか 鈴木啓著 大正十三 四二七

慰籍料 板倉卓造著 大正十三 四六五

近世國際法史論 江本製著 大正十三 四七三

比例代表の話 三菱合資會社資料課編 大正十三 雜九七

支那の省憲法並聯省自治に就て 三菱合資會社資料課編 大正十三 四二六

米國の東漸 石川實著 大正十三 四二六

巴里會議後の歐洲外交 土屋元作著 大正十三 四二六

米國大勢論斷 樋口麗陽著 大正十三 四二五

日本米餉來る 樋口麗陽著 大正十三 四二五

第三門

近世社會思想史 波多野鼎著 大正十三 四二六

新聞の讀方(政治外交の卷) 財政經濟時報社編 大正十三 四二六

朝鮮人労働者問題 大阪市社會部調査課編 大正十三 雜六三

日傭労働者問題 大阪市社會部調査課編 大正十三 雜六三

子清浦奎吾傳 後藤武夫著 大正十三 四二六

支那現代史 松井等著 大正十三 四二七

島根縣寫真帖 島根縣廳編 大正十三 四二五

在天津總領事館管轄區域内事情 外務省通商局編 大正十三 雜九五七

新ロシアの研究 大久保留次郎著 大正十三 四二七

在沙市帝國領事館管轄區域内事情 外務省通商局編 大正十三 雜九五七

合衆國に於ける特殊教育概況 文部省編 大正十三 雜六〇

成人教育 文部省編 大正十三 雜六一

職業指導と學校教育 文部省編 大正十三 雜九五九

海軍公報 附録

0828

第六門

地震 中村左衛門太郎著 大正十三
 提運動生理衛生學 吉田登信著 大正十三

第八門

無線の智識 伊藤實治著 大正十三
 特殊形態工場の實例 大阪市社会部調査課編 大正十三
 通俗水泳術 岩田敏著 大正十三
 運動競技の研究 廣瀬謙三著 大正十三

洋書、部

CLASS I.

Cable, F. T. The birth and development of the American submarine. N. Y., 1924. 5631
 Kidd, A. C., Lieut. U. S. N. Notes on naval communications. A text book for the instruction of midshipmen in the department of seamanship U. S. Naval Academy. Annapolis, 1924. 5619
 U. S. Naval Academy. Naval leadership with some hints to junior officers and others. Annapolis, 1924. 5618
 U. S. Navy Department. Small arms firing regulations, U. S. Navy. Washington, 1923. P. 262

CLASS II.

Rogers, J. E. F. The economic interpretation of history. London, 1921. 5620
 Young, D. H. A white Australia. Is it possible? Melbourne, 1922. 5634

CLASS III.

Barr, John. The City of Auckland, New Zealand, 1840-1920. Auckland, 1922. 5622
 Jack, B. L. Northmost Australia. Three centuries of exploration, discovery, and adventure in and around the Cape York Peninsula, Queensland. Melbourne, 1922. 2 vol. 5626
 McNab, Robert. (ed.) Historical records of New Zealand. Wellington, 1908-1914. 2 vol. 5625
 Shrimpton, A. W. & A. E. Mulgan, Maori & Pakeha. A history of New Zealand. Auckland, 1921. 5616

CLASS IV.

Cowan, James. The Maori of New Zealand. Melbourne, 1910. 5617
 Marshall, P. The geography of New Zealand. Melbourne, n. d. 5624
 Monckton, C. A. W., Captain, R. A. Some experiences of a New Guinea resident magi-

0829

<p>traie, London, 1922. Last days in New Guinea. Being further experiences of a New Guinea resident magistrate. London, 1922. Old New Zealand. A tale of the good old times, By a Pakeha Maori. Auckland, 1922. 5621 Wragge, C. L. The romance of the south seas. London, 1906. 5623 CLASS V.</p>	<p>5628 5627 5621 5623</p>
<p>Starch, Daniel. Experiments in educational psychology. N. Y., 1923. CLASS VI.</p>	<p>5632</p>
<p>Cernach, A. J. Diagnostik innerer Krankheiten in Tabellenform. München, 1922. 1250 Taylor, Griffith. Australian meteorology. A textbook including sections on aviation and climatology. Oxford, 1920. 5529 CLASS VII.</p>	<p>1250 5529</p>
<p>Ivens, E. M. Pumping by compressed air. N. Y., 2nd ed. 1920. 5614 Leslie, E. H. Motor fuels. Their production and technology. N. Y., 1923. 5615 Ubbelohde, L. u. F. Goldreimitt. Handbuch der Chemie und technologie der Ole und Fette.</p>	<p>5614 5615</p>
<p>Leipzig, 1920. 2. Bd. CLASS VIII.</p>	<p>1249</p>
<p>Hawthorath, Alfred. Australasian sheep & wool. A practical and theoretical treatise. Sydney, 5th ed., 1920. 5633 Maddonald, J. R. Australian and New Zealand sheep-farming. Wool, mutton, pastures. Auckland, 1920. 5630</p>	<p>5633 5630</p>

0830

海軍公報

第三千五百十二號

海軍大臣官房

大正十三年七月十五日(水)

大出

○辭令

海軍兵學校ニ於ケル劍道教授ヲ囑託シ部内限リ奏任
官待遇トス(七月四日海軍省)

中山 博道

(各通)

海軍軍醫中佐 原田 綱橋
海軍軍醫少佐 横山 祐幸

海軍豫備員志願者體格検査委員ヲ命ス
海軍技手 石井 吉藏
海軍艦政本部勤務兼造船監督助手ヲ免シ横須賀海軍
工廠附ヲ命ス(以上七月五日海軍省)

○雜款

○司令潜水艦變更
第六潜水隊司令本月十二日司令潜水艦ヲ第五十七潛
水艦ヨリ第四十七潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先
第四十四、第四十五潜水艦宛
當分ノ間

吳

驅逐艦沖風宛

當分ノ間

佐世保

右以外ノ第二艦隊各司令部及各艦宛

當分ノ間

佐伯

特務艦間宮宛

當分ノ間

吳

特務艦佐多宛

七月十六日迄ニ到達見込ノモノハ

徳山

同 二十一日迄ニ 同

徳山

同 二十五日迄ニ 同

佐世保

其ノ後ハ

○事務所閉鎖

特務艦間宮艦裝具事務所ヲ川崎造船所内ニ設置中ノ處
本月十二日限リ閉鎖セリ

退役海軍機關大尉正七位勳五等野上猛次郎三月二
十五日死去セリ

海軍公報 第三千五百十二號 大正十三年七月十五日

七四七

0831

○艦船所在

▲印ハハ★フ
指定ヲ要セス

○七月十五日上午十時

【横須賀】

加賀、榛名▲、筑摩、千早、磐手、風翔、扶桑、阿蘇、滿州

▽櫻、椿、楨、桑、▽島風、灘風、沙風、▽響、有明、如月、神風、吹雪、初霜、浦風、夕風、時雨

▽潜波一、潜波二、潜波四、潜波一〇、

▽潜波三、潜波二〇、潜波一九、潜波五八、鳴戸、青島、武藏、大泊、朝日、關東、

神威、洲崎

【浦賀】

阿武隈、驅八、球磨

【四日市】

矢風

【鳥羽】

日進、▽潜三九、潜三八、潜四〇

【大湊】

磯風

【函館】

大和、伊勢、霧島▲、鬼怒、千歲、明石、矢矧、木曾、勝力、駒橋、▽五十鈴、多摩、夕張、▽天龍

▽追風、初春、彌生、卯月、疾風、▽菊月、水無月、綾波、磯波、浦波、長月、

▽驅一六、驅一〇、驅一二、驅一八、▽葛、萩、藤、薄、▽谷風、江風、葵、菊、▽驅六、驅二、驅四▲

▽潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、潜波七、潜波八、▽潜二七、潜二五、

▽潜三七、潜二二、潜二四、▽潜三五、潜三六、潜三四、潜二六、潜五一、

潜一八、潜四四、潜四五、野間、能登呂

【大阪】 驅一五

【神戸】 神通、潜七〇、潜七三、潜八四、間宮

【由宇】 ▽八雲、淺間、出雲

【徳山】 常磐、▽掃一、掃二、掃三

【舞鶴】 春日▲

▽榎、海風、山風、楢、驅九

【佐世保】 吾妻、對馬、最上▲、嵯峨▲、口金剛、比叡、▽由良、名取、長良、川内、▽北上、▽平戸、韓崎、若宮

▽桃、柳、檜、樅、▽樅、樺、竹、梨、▽栗、榎、梅、柿、▽葦、菱、蕨、蓮、

▽蓮、菱、蓬、▽若葉、初雪、湖、朝風、子日、春風、驅一七、▽驅一、野風、

沼風、波風、隠三、隠五、隠七、
沖風、澤風、峯風、夕風、太刀風、
 帆風、羽風、秋風
 潜二、潜四一、潜四二、潜六九、
 潜七、潜四三、潜三一、潜三三、
 潜三二、潜六二、潜五九、潜七二
 敷島、樽袋、室戸
 【長崎】長崎
 【馬公】松、柏、杉、榊
潜六八
 【鎮海】桂
 【元山】榎、楠
 【旅順】桐、樺、櫻、橘
 【南洋群島】淀、松江
 【亞港】三日月、夕暮、白霧、天津風
 【ヌイオ】夕立
 膠州
 【チギリ】濱風
 【上海】利根、比良、堅田
 【漢口】宇治、安宅
 【長沙】隅田
 【重慶】保津
 【宜昌】伏見、勢多

海軍公報 第三五二二號 大正十三年七月十五日

(部内限四頁)

七四九

【航海中】

佐多 (六月二十六日「ホノルル」發—徳山へ)
 隠戸 (六月二十八日「ホノルル」發—徳山へ)
 尻矢 (七日横須賀發—「サンビドロ」へ)
 栗橋 (八日亞港發—間宮海峽へ)
 知床 (八日佐世保發—桑港へ)
 早稲 (八日「ホノルル」發—徳山へ)
 鶴見 (十日横須賀發—桑港へ)
 石廊 (十二日横須賀發—桑港へ)
 野島 (十二日基隆發—佐世保へ)
 鳥羽 (十三日宜昌發—重慶へ)
 劍崎 (十三日横須賀發—吳へ)
 時津風 (十三日大湊發—横須賀へ)
 長門、陸奥、日向、山城 (十四日佐世保發—佐伯へ)
 大井 (十四日新嘉坡發—「パタピヤ」へ)
 富士 (十四日基隆發—長崎へ)
 高崎 (十四日吳發—大湊へ)
 迅鯨、潜四七、潜五七、潜三〇、潜二九、潜二八
 (十五日徳山發—三田尻沖へ)
 潜四六 (十五日吳發—三田尻へ)
 龍田 (十五日別府發—唐津へ)
 梅 (十五日鎮海發—清津へ)
 攝津 (十五日佐世保發—佐伯へ)

0833

0834

海軍公報

第三千五百十三號

海軍大臣官房

大正十三年七月十六日(水)

大 7.17
録記

○令 達

官房第二一七三號ノ三

大正十三年度歳出科目左ノ通追加ス

大正十三年七月十六日

海軍大臣 財 部 彪

歳出經常部

款 項	目	節	解 疏	會計科目
(軍事費)				
(修繕費)				
	海軍軍令部及海軍艦政本部獲得汽機用煤炭費			ホマ

○辭 令

(各通)

海軍大佐 藤 吉 峻
 海軍中佐 島田 繁太郎
 海軍中佐 中村 龜三郎

○雜 款

海軍學生給與委員ヲ命ス(十五號海軍省)

海軍少佐 杉山 俊亮

○滞在地變更

海軍中尉高田猪吉ハ吳ヨリ佐世保へ滞在地變更ノ儀七月十五日認許セラレタリ

海軍公報 第三千五百十三號 大正十三年七月十六日

七五二

○艦船所在

▲印ハハハカ
指定ヲ要セス

○七月十六日午前十時調

【橫須賀】 加賀、榛名、筑摩、千早、磐手、風翔、

扶桑、阿蘇、滿州

▽櫻、椿、檳、桑、▽島風、灘風、汐風、

▽響、有明、如月、神風、吹雪、初霜、

浦風、夕風、時雨、▽時津風

▽波一、▽波二、▽波一四、▽波一〇、

▽波二三、▽波二〇、▽波一九、▽波五八、

鳴戸、青島、武藏、大泊、朝日、神威、

洲崎

【浦賀】 阿武隈、驅八

【津】 球磨

【大湊】 日進

▽波三九、▽波三八、▽波四〇

【單冠灣】 磯風

【村上灣】 濱風

【吳】 伊勢、霧島、鬼怒、千歲、明石、矢矧、

木曾、勝力

▽追風、初春、彌生、卯月、疾風、▽菊月、

水無月、綾波、磯波、浦波、長月、

驅一八、驅四、

▽波三、▽波四、▽波五、▽波六、

▽波七、▽波八、▽波二七、▽波二五、

▽波三七、▽波二二、▽波二四、▽波三五、

▽波三六、▽波三四、▽波二六、▽波五一、

▽波一八、▽波四四、▽波四五

野間、能登呂

【大阪】 驅一五

【神戶】 神通

▽波七〇、▽波七三、▽波八四

【由宇】 下八雲、淺間、出雲

【德山】 佐多

【佐伯】 長門、陸奥、日向、山城

【舞鶴】 春日

▽榎、海風、山風、檜、驅九

【佐世保】 吾妻、對馬、最上、嵯峨

▽桃、柳、檜、樅、▽樅、榎、竹、梨、

▽栗、榆、梅、柿、▽葦、菱、蕨、菫、

▽蓮、蓼、蓬、▽若葉、初雪、潮、朝風、

子日、春風、驅一七、▽沖風

▽波二一、▽波四一、▽波四二、▽波六九、

▽波七一、▽波四三、▽波三一、▽波三三、

▽波三二

敷島、德島、野島

【唐津】 龍田

【長崎】 長鯨

【馬公】 松、柏、杉、榎

【錢海】桂
 【旅順】樺、櫻、橘
 【南洋群島】淀、松江
 【亞港】白霧、天津風
 【ナベリ】夕立
 【上海】利根、比良、空田
 【漢口】宇治、安宅
 【長沙】隅田
 【重慶】保津
 【宜昌】伏見、勢多
 【航海中】
 隱戸 (六月二十八日「ホノルル」發—德山へ)
 尻矢 (七日横須賀發—「サンビドロ」へ)
 栗橋 (八日亞港發—間宮海峽へ)
 知床 (八日佐世保發—桑港へ)
 早鞆 (八日「ホノルル」發—德山へ)
 鶴見 (十日横須賀發—桑港へ)
 石廊 (十二日横須賀發—桑港へ)
 鳥羽 (十三日宜昌發—重慶へ)
 劍崎 (十三日横須賀發—吳へ)
 大井 (十四日新嘉坡發—「バタビヤ」へ)
 富士 (十四日基隆發—長崎へ)

高崎 (十四日吳發—大湊へ)
 梅 (十五日鎮海發—清津へ)
 攝津 (十五日佐世保發—佐伯へ)
 日金剛、比叡、△由良、名取、長良、△北上、△驅一、
 野風、沼風、波風、△驅三、驅五、驅七、澤風、
 峯風、夕風、△太刀風、帆風、羽風、秋風、△平戸、
 韓崎、△潛六二、△潛五九、潛七二、若宮 (十五
 日佐世保發—佐伯灣へ)
 川内 (十五日佐世保發—串木野へ)
 駒橋 (十五日吳發—佐伯灣へ)
 △楓、楠 (十五日元山發—西湖津へ)
 矢風 (十五日鳥羽發—横須賀へ)
 三日月、夕暮 (十五日亞港發—樺太東海岸へ)
 室戸 (十五日佐世保發—德山へ)
 間宮 (十五日神戶發—吳へ)
 大和 (十五日函館發—雄基へ)
 膠州 (十五日「ナベリ」發—大泊へ)
 關東 (十五日横須賀發—長崎へ)
 △五十鈴、多摩、夕眼、△天龍、△驅一六、驅二〇、
 驅一二、△葛、萩、藤、薄、△谷風、江風、葵、菊、
 △驅六、驅二 (十六日吳發—佐伯へ)
 △迅鯨、△潛四七、潛五七、潛四六、△潛三〇、潛二九、
 潛二八、常磐、△掃一、掃二、掃三 (十六日德山發—
 佐伯へ)

海軍公報 第三五二三號 大正十三年七月十六日

(部内限ナシ)

七五三

0836

海軍公報

第三千五百十四號

海軍大臣官房

大正十三年七月十七日(木)

1924.7.18
海軍大臣官房

○令達

官房第二二九四號

工事製造加工等ノ契約ニ伴ヒ請負者ニ交付シタル物品
ニシテ大正十二年九月一日ノ震災災ニ因リ亡失又ハ毀
損シタルモノハ總テ官ノ損害トシ整理シ其品名數量代
價ヲ報告スヘシ

大正十三年七月十七日

海軍大臣 財 部 彪

○通牒

大正十三年七月十七日

海軍經理學校長 加藤 亮 一
在京各廳高等官御中

本月二十四日本校卒業式舉行當日
守正王殿下ヲ被差遣候旨 御沙汰有之候ニ付午前八時

海軍公報 第三五一四號 大正十三年七月十七日

三十分迄ニ御來校被下度此段御案内申上候

○辭令

板井 クノ

故海軍一等兵曹勳七等板井幸三郎戰役ノ功ニ依リ特
ニ金貳百五拾圓ヲ賜フ

長尾 喜次郎

故海軍三等兵曹長尾茂太郎戰役ノ功ニ依リ特ニ金百
拾五圓ヲ賜フ

野中 ユキ

故海軍三等機關兵曹勳八等野中政一戰役ノ功ニ依リ
特ニ金貳百五拾圓ヲ賜フ

田畀 近作

故海軍一等機關兵田畀京作戰役ノ功ニ依リ特ニ金百
參拾圓ヲ賜フ

市原 益吉

故海軍一等機關兵市原與一戰役ノ功ニ依リ特ニ金百
拾圓ヲ賜フ(七月五日海軍省)

七五五

0837

○雜款

○司令驅逐艦變更
第二驅逐隊司令ハ本月十四日司令驅逐艦ヲ沖風ヨリ夕風ニ一時變更セリ

○郵便物發送先
第十八驅逐隊司令部、時津風宛

官分ノ間 横須賀

驅逐艦沖風宛

七月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保
其ノ後ハ 佐伯

○郵便物發送先變更(六月二十八日)
特務艦高崎宛

七月二十四日迄ニ到達見込ノモノハ 大湊
同 三十一日迄ニ 西戸崎
其ノ後ハ 横須賀

○軍艦扶桑行動豫定

地名 着 發
横須賀 七月二十二日
江田内 七月二十四日

佐伯 二十五日
横須賀 二十七日

海軍書記有吉愛造ハ本月十日死去セリ

○艦船所在

指定ヲ要セス

○七月十七日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名、筑摩、千早、磐手、鳳翔、扶桑、阿蘇、滿州

▽傳、楢、檜、桑、▽島風、灘風、汐風、

矢風、▽響、有明、如月、神風、吹雪、

初霜、夕風、時雨、▽時津風

▽潜波一、▽潜波二、▽潜波一四、▽潜波一〇、

▽潜波二三、▽潜波二〇、▽潜波一九、▽潜波五八、

鳴戸、青島、武藏、大泊、朝日、神威、

【浦賀】

阿武隈、驅八

【戸田】

浦風

【大湊】

日進、▽潜三九、▽潜三八、▽潜四〇

【村上灣】

伊勢、霧島、鬼怒、千歳、明石、矢矧、

水曾、勝力、▽八雲、淺間、出雲、

▽追風、初春、彌生、卯月、疾風、▽菊月、

水無月、綾波、磯波、浦波、長月、

▽潜波三、▽潜波四、▽潜波五、▽潜波六、

▽潜波七、▽潜波八、▽潜波三七、▽潜波二五、

▽潜波三七、▽潜波二二、▽潜波二四、▽潜波三五、

【大阪】

▽潜三六、▽潜三四、▽潜二六、▽潜五一、

▽潜一八、▽潜四四、▽潜四五

野間、能登呂、劍崎

【神戸】

神通、▽潜七〇、▽潜七三、▽潜八四

【徳山】

▽佐伯、▽長門、陸奥、日向、山城、▽五十鈴、

多摩、夕張、▽天龍、▽迅鯨、常磐、

▽金剛、比叡、▽北上、韓崎、駒橋、

▽驅一六、▽驅一〇、▽驅一二、▽驅一八、▽驅一、

▽驅六、▽驅二、▽驅四、▽驅一、野風、葵、菊、

波風、▽驅三、▽驅五、▽驅七、▽夕風、澤風、

峯風、▽太刀風、帆風、羽風、秋風、

▽潜四七、▽潜五七、▽潜四六、▽潜三〇、

▽潜二九、▽潜二八

▽掃一、▽掃二、▽掃三

▽春日

▽榎、海風、山風、檜、驅九

▽吾妻、對馬、最上、嵯峨

▽桃、柳、檜、樅、▽樅、樺、竹、梨、

▽栗、梅、柿、▽草、菱、萩、菫、

▽蓮、蓼、蓬、▽若葉、初雪、潮、朝風、

▽子日、春風、▽驅一七、神風

海軍公報 第三五二四號 大正十三年七月十七日

七五七

0839

潜三二、口潜四一、潜四二、潜六九、
潜七一、潜四三、口潜三二、潜三三、
潜三二

敷島、樺葉、野島

【馬津】龍田

【長崎】長崎

【申木野】川内

【馬公】口松、口相、口杉、口柳

【鎮海】桂

【清津】口楓、口楠、口梅

【旅順】口桐、口樺、口櫻、口橘

【南洋群島】淀、口松江

【亞港】白鷺、天津風

【ナビリ】口夕立

【上海】口利根、比良、堅田

【漢口】安宅

【長沙】隅田

【重慶】保津

【宜昌】伏見、勢多

【航海中】

隱戸 (六月二十八日「ホノルル」發—徳山へ)

尻矢 (七日横須賀發—「サンビドロ」へ)

栗橋 (八日亞港發—間宮海峡へ)

知床 (八日佐世保發—桑港へ)

早鞆 (八日「ホノルル」發—徳山へ)

鶴見 (十日横須賀發—桑港へ)

石廊 (十三日横須賀發—桑港へ)

鳥羽 (十三日宜昌發—重慶へ)

大井 (十四日新嘉坡發—「バタビヤ」へ)

富士 (十四日基隆發—長崎へ)

高崎 (十四日吳發—大湊へ)

攝津 (十五日佐世保發—佐伯へ)

由良、名取、長良、ト平戸、口潜六二、口潜五九、

潜七二、若宮 (十五日佐世保發—佐伯灣へ)

三日月、夕暮 (十五日亞港發—樺太東海岸へ)

間宮 (十五日神戶發—吳へ)

大和 (十五日函館發—雄基へ)

膠州 (十五日「ナビリ」發—大泊へ)

關東 (十五日横須賀發—長崎へ)

宇治 (十六日漢口發—長沙へ)

球磨 (十六日津發—吳へ)

磯風 (十六日單冠灣發—「オゼルナヤ」へ)

葦崎 (十六日亞港發—間宮海峡へ)

(部内限三頁)

海軍公報

第三千五百十五號

大正十三年七月十八日(金)

海軍大臣官房

大出

○通牒

官房第二三〇二號

大正十三年七月十八日

海軍省副官 藤田 尙徳

在京各廳長殿

皇太子殿下來二十二日午前八時五分東京驛御發車廣島縣下江田島へ行啓可被爲在旨被仰出候ニ就テハ在京勅任官ハ便宜同驛ニ奉送ノコトニ定メラレ候條御承知相成度
右依命申進ス

服 裝 通常禮裝(第二種軍裝 帶勳)

○辭令

東京帝國大學助教 増田 惟茂
臨時適性検査研究部ニ於ケル研究事務囑託ヲ解キ海軍ニ於ケル實驗心理學應用ニ關スル研究事務ヲ囑託シ報酬月額五拾圓ヲ贈與ス(五〇日海軍省)

○雜款

○郵便物發送先

海軍省事務囑託 遞信局事務官 山田 耕二
報酬トシテ金貳拾五圓ヲ贈與ス(五〇日海軍省)
海軍省事務囑託 遞信書記官 高妻 直道
(各通) 海軍省事務囑託 休職遞信書記官 三宅 福馬
報酬トシテ金七拾五圓ヲ贈與ス
(各通) 海軍省事務囑託 休職遞信書記官 三宅 福馬
海軍省事務囑託ヲ解ク 遞信書記官 平井 宣英
(各通) 同 園田 榮五郎
海軍省事務ヲ囑託ス(以上十七日海軍省)
第五部勤務ヲ命ス(十七日海軍艦政本部) 海軍技手 二本木 清藏

海軍公報 第三五二五號

大正十三年七月十八日

七五九

0841

第七十三潜水艦宛

七月二十三日迄ニ到達見込ノモノハ 神 戸
同 二十七日迄ニ 同 吳 佐 世 保
其ノ後ハ

○特務艦佐多行動豫定變更(五月十四日 本欄参照)

地名	着	發
徳山	七月十五日	七月十七日
舞鶴	十九日	二十二日
徳山	二十四日	二十六日
佐世保	二十七日	

○特務艦神威行動豫定變更(七月十二日 本欄参照)

地名	着	發
横須賀		七月二十四日
サンビドロ	八月十日	八月十四日
桑港	十五日	十九日
ホノルル	二十七日	三十日
横須賀	九月十四日	

海軍中佐正六位勳四等根岸清八七月十四日死去、葬儀ハ十五日横須賀ニ於テ執行セリ

○艦船所在

（印ハハハ）
指定ヲ要セス

○七月十八日午前十時嗣

【横須賀】

加賀、榛名、筑摩、千早、磐手、風翔、扶桑、阿蘇

▽榎、椿、榎、桑、▽島風、灘風、汐風、矢風、▽響、有明、如月、神風、吹雪、初霜、夕風、時雨、▽時津風

▽潜波一、潜波二、潜一四、潜波一〇、潜波三三、潜二〇、潜一九、潜五八

▽潜三三、潜二〇、潜一九、潜五八

鳴戸、青島、武藏、大泊、朝日、神威

阿武隈、驅八

浦風

清水

大湊

▽潜三九、潜三八、潜四〇

大泊

膠州

村上海

伊勢、霧島、鬼怒、千歳、明石、矢矧、

木曾、勝力、▽八雲、淺間、出雲、

▽追風、初春、彌生、卯月、疾風、▽菊月、

水無月、綾波、磯波、浦波、長月

潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、

潜波七、潜波八、▽潜二七、潜二五、

▽潜三七、潜二三、潜二四、▽潜三五、

【大阪】

野間、能登呂、劍崎、間宮

神戶

▽潜三六、潜三四、潜二六、潜五一、

▽潜一八、潜四四、潜四五

▽潜七〇、潜七三、潜八四

徳山

山城、日向

八幡濱

駒橋

佐伯

▽長門、陸奥、▽五十鈴、多摩、夕張、

▽天龍、▽迅鯨、常磐、▽金剛、比叡、

▽由良、名取、長良、▽北上、韓崎

▽驅一六、驅一〇、驅一二、驅一八、▽菟、

萩、藤、薄、▽谷風、江風、葵、菊、

▽驅六、驅二、驅四、▽驅一、野風、沼風、

波風、▽驅三、驅五、驅七、▽夕風、澤風、

峯風、▽太刀風、帆風、羽風、秋風

▽潜四七、潜五七、潜四六、▽潜三〇、

潜二九、潜二八、▽潜六二

▽掃一、掃二、掃三

舞鶴

▽春日

▽榎、海風、山風、檜、驅九

▽佐世保

▽吾妻、對馬、最上、嵯峨、龍田

▽桃、柳、檜、樫、▽樞、榎、竹、梨、

▽栗、楡、榎、柿、▽華、菱、蕨、薑、

海軍公報 第三五二五號 大正十三年七月十八日

七六一

0843

【長崎】長崎、敷島、襟裳、野島
 【馬公】富士、川内、柏、杉、榊
 【鎮海】桂、梅、榊、櫻、橘
 【旅順】白霧、松江
 【亞港】栗橋、比良、堅田
 【上海】夕立、利根、安宅
 【漢口】安宅、比良、堅田
 【長沙】伏見、勢多
 【重慶】保津、勢多
 【宜昌】伏見、勢多
 【大井】勢多

隱戸 (六月二十八日「ホノルル」發—徳山へ)
 尻矢 (七日横須賀發—「サンビドロ」へ)
 知床 (八日佐世保發—桑港へ)
 早鞆 (八日「ホノルル」發—徳山へ)
 鶴見 (十日横須賀發—桑港へ)
 石廊 (十二日横須賀發—桑港へ)
 鳥羽 (十三日宜昌發—重慶へ)
 高崎 (十四日吳發—大湊へ)
 平戸 (十四日吳發—大湊へ)
 若宮 (十五日佐世保發—佐伯灣へ)
 三日月、夕暮 (十五日亞港發—樺太東海岸へ)
 大和 (十五日函館發—雄基へ)
 關東 (十五日横須賀發—長崎へ)
 宇治 (十六日漢口發—長沙へ)
 球磨 (十六日津發—吳へ)
 磯風 (十六日單冠灣發—「オセルナヤ」へ)
 葦埼 (十六日亞港發—間宮海峡へ)
 滿州 (十七日横須賀發—測量地へ)
 天津風 (十七日亞港發—大湊へ)
 潛六八 (十七日馬公發—基隆へ)
 佐多 (十七日徳山發—舞鶴へ)
 洲崎 (十七日横須賀發—大湊へ)
 室戸 (十八日徳山發—吳へ)

(海内限ナシ)

0844

海軍公報

第三千五百十六號

海軍大臣官房

大正十三年七月十九日(土)

○令達

官房第二三一號

改正

英國及北方愛蘭諸港ニ於ケル外國軍艦ノ無線電信電話
使用管理規則ハ別紙ニ據ル旨今般在本邦英國大使館ヨ
リ通報アリタル越外務省ヨリ通牒ニ接セリ此ノ旨心得
ヘシ

大正十三年七月十九日

海軍大臣 財部 彪

(別紙)

英國及北部愛蘭諸港ニ於ケル外國軍艦
無線電信電話通信規則

(千九百二十四年七月一日在本邦英國大使館通報)

一 軍港又ハ軍港ニ接近セル港灣(例ヘン Leth, Southampton)ノ如シニ碇泊中ノ外國軍艦及隨伴軍
用航空機無線電信又ハ無線電話ヲ使用セムトス
ルトキハ其ノ型式使用波長及行ハムトスル通信時

海軍公報 第三五一六號

大正十三年七月十九日

七六三

刻ヲ具シテ軍港所在海軍先任將校ノ許可ヲ受クル
ヲ要ス

二 軍港ニ接近セサル港灣ニ碇泊中ノ外國軍艦及隨伴
軍用航空機ハ左記ニ依ルヘシ

(イ) 遭難通知ノ發信又ハ受信ノ外六〇〇米ノ波長
ヲ使用スヘカラス

(ロ) 海軍、陸軍、空軍通信部隊其ノ他陸上無線
電信所ノ通信ヲ妨害スヘカラス

(ハ) (1) 海軍官憲、(2) 港務官憲、(3) 陸上無線
電信所ヨリノ要求アリタルトキハ通信ヲ停止スヘ
シ

(ニ) 不衰弱以外ノ電波ヲ使用スル長時間ノ通信ヲ
避クヘシ

(ホ) 所在港灣ニ英國ノ艦隊又ハ軍艦在泊スルトキ
ハ英國海軍先任將校ニ協議スヘシ

○辭令

○大正十三年七月十七日

任海軍書記
給八級俸

淺野 至

任海軍編修書記 金矢 勉二
 給八綴俸
 任海軍技手 石渡 林藏
 給月俸七拾圓

聯合艦隊司令部ニ於ケル齒科治療業務ヲ囑託ス
 但報酬月額貳百圓ヲ給シ部内限リ奏任官待遇トス
 (七月海軍省) 福島 秀策

横須賀海軍經理部附ヲ命ス 海軍書記 淺野 至
 海軍軍令部附ヲ命ス 海軍編修書記 金矢 勉二
 海軍技術研究所附ヲ命ス(以上七月海軍省) 海軍技手 石渡 林藏

海軍省經理局局員 海軍主計少佐 河 勉三
 艦隊經費主任出納官吏ヲ命ス 海軍主計中佐 柳沼 廣三
 艦隊經費主任出納官吏ヲ免ス(七月海軍省經理局支
 出官)

○雜款

○伊太利砲艦「セバスタアノカボト」(艦長海軍少佐「イアツキノ」)本邦沿岸行動豫定

地名	着	發
仁川	七月十七日	七月二十三日
釜山	二十五日	二十七日
元山	二十九日	八月四日
浦館	八月六日	十三日
函館	十五日	二十日
敦賀	二十二日	九月三日
廣島	九月五日	九月三日

○「ベスト」發生報(七月十七日) 七月十六日静岡縣濱名郡吉津村ニ有菌鼠一頭發見

累計 (静岡縣下) 患者 眞症 一四
 有菌鼠 疑似 五一

○艦船所在

▲印ハハキヲ指定ス

○七月十九日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名▲、筑摩、千早、磐手、鳳翔、扶桑、阿蘇

▽樺、椿、楨、桑、▽島風、灘風、汐風、

矢風、▽櫻、有明、如月、神風、吹雪、

初霜、夕風、時雨、▽時津風

▽潜波一、潜波二、潜一四、潜波一〇、

▽潜二三、潜二〇、潜一九、潜五八

▽鳴戸、青島、武藏、大泊、朝日、神威

【浦賀】

阿武隈、驅八

【清水】

浦風

【大湊】

日進

【大泊】

▽潜三九、潜三八、潜四〇

【村上灣】

濱風

【吳】

伊勢、霧島▲、鬼怒、千歲、明石、矢矧、

木曾、勝力、駒橋、球磨、▽八雲、淺間、

出雲

▽追風、初春、彌生、卯月、疾風、▽菊月、

水無月、磯波、浦波、長月

潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、

潜波七、潜波八、▽潜二七、潜二五、

【大阪】

▽潜三七、潜二二、潜二四、▽潜三五、

潜三六、潜三四、潜二六、潜五一、

潜一八、潜四四、潜四五

野間、能登呂、劍崎、間宮、室戸

▽野間、能登呂、劍崎、間宮、室戸

▽神通

▽神通

▽潜七〇、潜七三、潜八四

▽山城、日向

▽隱戸

▽佐伯

▽長門、陸奥、▽五十鈴、多摩、夕張、

▽天龍、▽迅鯨、常磐、▽金剛、比叡、

▽由良、名取、長良、▽北上

▽驅一六、驅一〇、驅一二、驅一八、▽荻、

萩、藤、薄、▽谷風、江風、葵、菊、

▽驅六、驅二、驅四、▽驅一、野風、沼風、

波風、▽驅三、驅五、驅七、▽夕風、澤風、

峯風、▽太刀風、帆風、羽風、秋風、

▽潛四七、潛五七、潛四六、▽潛三〇、

▽潛二九、潛二八、▽潛六二

▽掃一、掃二、掃三

▽舞鶴

▽春日

▽榎、海風、山風、楢、驅九

▽佐世保

▽吾妻、對馬、最上▲、嵯峨▲、龍田

▽桃、柳、檜、樅、▽樺、榎、竹、梨、

區栗、檜、樺、柿、區葦、菱、蕨、蘆、
 區蓮、麥、蓬、區若菜、初雪、潮、朝風、
 子日、春風、驅一七、沖風
 潜二一、區潜四一、潜四二、潜六九、
 潜七一、潜四三、區潜三一、潜三三、
 潜三二
 敷島、櫻裳▲
 【長崎】長崎
 富士
 【馬公】松▲、柏▲、杉▲、榿▲
 【基隆】区潜六八
 【鎮海】桂
 【雄基】区楓、楠
 【旅順】区桐、樺、櫻、橘
 【南洋羣島】淀、松江
 【亞港】白鷺
 栗橋
 【バイカル】区夕立
 【上海】区利根、比良、堅田
 【漢口】安宅
 【長沙】隅田
 【重慶】保津
 【宜昌】伏見、勢多
 【バタビヤ】大井

【航海中】
 尻矢 (七日横須賀發「サンビドロ」へ)
 知床 (八日佐世保發「桑港」へ)
 早稲 (八日「ホルル」發「徳山」へ)
 鶴見 (十日横須賀發「桑港」へ)
 石廊 (十二日横須賀發「桑港」へ)
 鳥羽 (十三日宜昌發「重慶」へ)
 高崎 (十四日吳發「大湊」へ)
 平戸、區潜五九、潜七二、若宮 (十五日佐世保發「佐伯灣」へ)
 三日月、夕暮 (十五日亞港發「樺太東海岸」へ)
 大和 (十五日函館發「雄基」へ)
 關東 (十五日横須賀發「長崎」へ)
 宇治 (十六日漢口發「長沙」へ)
 磯風 (十六日單冠灣發「オゼルナヤ」へ)
 葦崎 (十六日亞港發「間宮海峡」へ)
 滿州 (十七日横須賀發「測量地」へ)
 天津風 (十七日亞港發「大湊」へ)
 佐多 (十七日徳山發「舞鶴」へ)
 洲崎 (十七日横須賀發「大湊」へ)
 川内 (十八日串木野發「佐伯」へ)
 韓崎 (十八日佐伯發「吳」へ)
 綾波 (十八日吳發「佐伯」へ)
 梅 (十八日雄基發「長箭洞」へ)
 野島 (十八日佐世保發「鎮海」へ)

部内限一頁

海軍公報

第三千五百十七號

海軍大臣官房

大正十三年七月二十一日(月)

○令

官房第二三三三號

昭和十三年七月二十一日

廢止

教程一年未滿ノ學生又ハ練習生トナリタル爲家族移轉料支給停止中ノ者法規ノ改正等ニ依リ其期間延長セザレタルトキハ其延長アリタル日以後ニ於ケル學生又ハ練習生タル期間一年以上ハ其場合ニ限リ其際家族移轉料ヲ支給スルコトヲ得

大正十三年七月二十一日

海軍大臣 財部 彪

○通牒

官房第二三三七號

大正十三年七月二十一日

海軍省副官 藤田 尚徳

海軍軍醫學校診療規程中左ノ通改正ノ件認可セラル

海軍公報 第三五二七號 大正十三年七月二十一日

右通牒ス

第三條 診療ハ毎日(休日ヲ除ク)左記ニ依リ之ヲ

行フヲ例トス

自七月二十一日 自午前八時

自八月三十一日 自午前八時

自九月一日 自午後一時

至七月二十日 至午後三時

但シ土曜日ハ一年ヲ通シ午前八時ヨリ午前十時迄トス

○辭令

從七位 大塚 孝惟

横須賀海軍工廠所掌職工教育業務ヲ囑託ス

但報酬月額百拾圓ヲ給シ部内限リ奏任官待遇トス

(七二四海軍省)

七六七

0849

18.7.22
海録記

○雜款

○司令驅逐艦變更
第二十九驅逐隊司令ハ本月十六日司令驅逐艦ヲ若葉ヨ
リ初雪ニ變更セリ

○郵便物發送先
驅逐艦沖風宛
當分ノ間 佐 伯

○試験問題發送
本校第十期練習生無章兵採用試験問題ハ本月十五日發
送済ニ付未着ノ向ハ至急御通知ヲ得度
(海軍潜水學校)

○電話番號變更
海軍艦政本部總務部長
青山 六一二五番 海軍少將 村越 八郎

○疑似「コレラ」發生報(七月十九日 吳鎮守府軍醫長)
七月十七日山口縣都濃郡太華村ニ疑似「コレラ」
發生

0850

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ヲ示ス
□定ヲ要セス

○七月二十一日午前十時調

【横須賀】 加賀、榛名、筑摩、千早、磐手、風翔、

扶桑、阿蘇

▽機、椿、模、桑、▽島風、灘風、汐風、

矢風、▽響、有明、如月、神風、吹雪、

初霜、夕風、時雨、▽時津風

▽潜波一、潜波二、潜一四、潜波一〇、

▽潜二三、潜二〇、潜一九、潜五八

鳴月、青島、武藏、大泊、朝日、神威

【浦賀】 阿武隈、驅八

【重須】 浦風

【大湊】 日進

天津風

▽潜三九、潜三八、潜四〇

高崎、洲崎

【小樽】 膠州

【稚内】 三日月、夕暮

【村上灣】 濱風

【奥】 伊勢、霧島、鬼怒、千歳、明石、矢矧、

木曾、勝力、駒橋、球磨、▽八雲、淺間、

出雲

▽追風、初春、彌生、卯月、疾風、▽菊月、

水無月、綾波、磯波、浦波、長月

潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、

潜波七、潜波八、▽潜二七、潜二五、

▽潜三七、潜三三、潜二四、▽潜三五、

潜三六、潜三四、潜二六、潜五一、

潜一八、潜四四、潜四五

野間、能登呂、劍崎、間宮、室戸、隠戸、

富士

【大阪】 驅一五

【神戸】 神通

潜七〇、潜七三、潜八四

【佐伯】 ▽長門、陸奥、日向、山城、▽五十鈴、

多摩、夕張、▽天龍、▽迅鯨、常磐、

▽金剛、比叡、▽由良、名取、長良、

川内、▽北上、▽平戸、韓崎、若宮、

▽驅一六、驅一〇、驅一二、驅一八、▽葛、

萩、藤、薄、▽谷風、江風、葵、菊、

▽驅六、驅二、驅四、▽驅一、野風、沼風、

波風、▽驅三、驅五、驅七、▽夕風、澤風、

峯風、沖風、▽太刀風、帆風、羽風、

秋風

▽潜四七、潜五七、潜四六、▽潜三〇、

潜二九、潜二八、▽潜六二、▽潜五九、

潜七二

▽掃一、掃二、掃三

0851

<p>【舞鶴】春日、 口複、海風、山風、櫛、錨九 控多、 【佐世保】吾妻、對馬、最上、嵯峨、龍田 口桃、柳、檜、櫻、口樅、樺、竹、梨 口栗、梅、柿、口葎、菱、萩、蕪 口初雪、若葉、潮、朝風、子日、 春風、錨、 口七、 口四一、口四二、口六九、 口七、口四三、口三三、口三三、 口七、 【西戸崎】野鳥、 【長崎】長崎、 關東、 【馬公】松、柏、杉、 【基隆】口六、 【鎮海】口、 【長崎洞】梅、 【西瀬】口、 【精津】大和、 【旅順】口、 【南洋群島】花、松江、 【亞港】口、</p>	<p>【上海】利根、比良、堅田、栗橋 【漢口】安宅 【長沙】隅田 【宜昌】伏見、勢多 【重慶】保津、鳥羽 【バタビヤ】大井 【航海中】 尻矢 (七日横須賀發「サンビドロ」) 知床 (八日佐世保發「桑港」) 早瀬 (八日「ホルナル」發「徳山」) 鶴見 (十日横須賀發「桑港」) 石廊 (十二日横須賀發「桑港」) 宇治 (十六日漢口發「長沙」) 磯風 (十六日單冠海發「オセルナヤ」) 葦崎 (十六日亞港發「問宮海峡」) 瀧州 (十七日横須賀發「測量地」) 口蓮、蓬 (二十日佐世保發「大島」)</p>
---	---

(部内限ナシ)

海軍公報

第三千五百十八號

大正十三年七月二十二日(火)
海軍大臣官房

○辭令

海軍技手 石渡 林藏
研究部附ヲ命ス(十七日海軍技術研究所)

○雜款

○郵便物發送先

練習艦隊司令部、八雲、淺間、出雲宛
七月二十四日迄ニ到達見込ノモノハ
同 二十六日迄ニ 同
同 三十一日迄ニ 同
八月 九日迄ニ 同
同 十四日迄ニ 同
同 十八日迄ニ 同
同 二十一日迄ニ 同
同 二十三日迄ニ 同
其ノ後ハ

江 田 島
白 田 杵
佐 世 保
鎮 海
新 鶴
函 瀨
大 館
横 須 賀

第十八驅逐隊、時津風宛

七月二十四日迄ニ到達見込ノモノハ
其ノ後ハ
大 横 須 賀
大 濑

第四十四潜水艦宛

當分ノ間
佐 伯

特務艦室戸宛

七月二十五日迄ニ到着見込ノモノハ
同 三十日迄ニ 同
八月 八日迄ニ 同
同 十四日迄ニ 同
同 十九日迄ニ 同
其ノ後ハ
吳 山
德 賀
横 須 賀
大 濑
大 横 須 賀
吳 山

○特務艦室戸行動豫定

地 名 着 發
吳 着 七月二十六日
横 須 賀 七月二十九日 三十一日

海軍公報 第三千五百十八號 大正十三年七月二十二日

七地一

0853

大	八月三日	八月九日
横須賀	十二日	十五日
徳山	十八日	二十日
吳	二十日	

○改姓
海軍主計中尉長嶋登喜治ハ泰羅ト改姓ノ旨七月十五日届出タリ

0854

○艦船所在

指定要セス

○七月二十二日午前十時開

【横須賀】

加賀、榛名、筑摩、千早、磐手、風翔、扶桑、阿蘇

▽樺、椿、楨、桑、▽島風、灘風、汐風、矢風、▽響、有明、如月、神風、吹雪、初霜、▽時津風

▽潜波一、潜波二、潜波三、潜波四、潜波一〇、潜波二〇、潜二〇、潜一九、潜五八

▽鳴戸、青島、武蔵、大泊、朝日、神威

【浦賀】

阿武隈、驅八

【妻良】

夕風、時雨

【重須】

浦風

【大湊】

日進

天津風

▽潜三九、潜三八、潜四〇

高崎

【函館】

洲崎

【小樽】

膠州

【稚内】

三日月、夕暮

【村上灣】

濱風

【吳】

伊勢、霧島、鬼怒、千歳、明石、矢矧、木曾、勝力、駒橋、球磨、▽八雲、

淺間、出雲

▽追風、初春、彌生、卯月、疾風、▽菊月、水無月、綾波、磯波、浦波、長月、夕風

▽潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、潜波七、潜波八、▽潜二七、潜三五、潜三七、潜三二、潜二四、潜三五、潜三六、潜三四、潜二六、潜五一、潜一八、潜四五

野間、龍登呂、劍崎、間宮、室月、隱戸、富士

【大阪】 驅一五

【神戸】 神通

潜七〇、潜七三、潜八四

【佐伯】 長門、陸奥、日向、山城、▽五十鈴、多摩、夕張、▽天龍、▽迅鯨、常磐、金剛、比叡、▽由良、名取、長良、川内、▽北上、▽平戸、韓崎、若宮、驅一六、驅一〇、驅一二、驅一八、▽葛、萩、藤、薄、▽谷風、江風、葵、菊、驅六、驅二、驅四、▽驅一、野風、沼風、波風、▽驅三、驅五、驅七、澤風、峯風、沖風、▽太刀風、帆風、羽風、秋風

▽潜四七、潜五七、潜四六、▽潜三〇、潜二九、潜二八、▽潜六二、▽潜五九、潜七二、潜四四

【舞鶴】春日▲
 【佐世保】香妻▲、對馬、最上▲、嵯峨▲、龍田
 【長崎】長崎、關東
 【西戸崎】野島
 【古仁屋】桂
 【馬公】松▲、柏▲、杉▲、榎▲
 【基隆】港六八
 【鎮海】桂
 【長崎】梅
 【清津】大和
 【旅順】桐、樺、櫻、橘
 【青森】江
 【亞港】夕立、白露

【上海】利根、比叟、墊田
 【漢口】安宅
 【長沙】隅田
 【宜昌】伏見
 【重慶】保津、鳥羽

【航海中】
 尻矢 (七日横須賀發「サンビドロ」)
 知床 (八日佐世保發「桑港」)
 早瀬 (八日「ホンメル」發「徳山」)
 鶴見 (十日横須賀發「桑港」)
 石廊 (十二日横須賀發「桑港」)
 宇治 (十六日漢口發「長沙」)
 磯風 (十六日單冠灣發)
 葦崎 (十六日亞港發「間宮海峡」)
 清州 (十七日横須賀發「測量地」)
 伊達 (二十日佐世保發「大島」)
 勢多 (二十二日宜昌發「上海」)
 大井 (二十一日「バタビヤ」發「サマラン」)
 佐多 (二十二日舞鶴發「徳山」)

(部内限二頁)

0856

海軍公報

第三千五百十九號

海軍大臣官房

大正十三年七月二十三日(水)

(大出)

○通牒

官房第二三〇一號ノ二

大正十三年七月二十二日

海軍省副官 藤田 尙徳

在京各廳長殿

皇太子殿下二十二日午前八時五分東京驛御發車江田島へ行啓可被爲在ニツキ奉送ニ關シ依命申進ノ次第モ有之候處御都合ニ依リ御取止メ相成候旨仰出サレ候條御承知相成度
右依命申進ス

官房第二三四七號

大正十三年七月二十三日

自然消滅

今般特務艦神威ト横濱郵便局間ニ軍艦郵便ヲ開始致候條本邦ヨリ發送ノ郵便物ハ同艦内地發ノ日ヨリ「ボノル」發送ノ期間横濱郵便局氣付トセラレ度

大正十三年七月二十三日

海軍省副官 藤田 尙徳

○雜款

○郵便物發送先

第八號驅逐艦宛

七月二十六日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀 其ノ後ハ 吳

○事務所撤去

第七十三潜水艦機裝員事務所ヲ神戸三菱造船所内ニ設置中ノ處本月二十三日限撤去セリ

第八號驅逐艦機裝員事務所ヲ浦賀船渠株式會社内ニ設置中ノ處本月二十四日限リ撤去セリ

海軍公報 第三五一九號 大正十三年七月二十三日

七七五

0857

○艦船所在

▲印ハハハセシ
指定ヲ要セス

○七月二十三日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名、筑摩、千早、磐手、風翔、扶桑、阿蘇

▽榑、榑、榑、榑、▽島風、灘風、汐風、

矢風、▽響、有明、如月、神風、吹雪、

初霜、浦風、▽時津風

▽波一、▽波二、▽波一四、▽波一〇、

▽波二三、▽波二〇、▽波一九、▽波五八

鳴月、青島、武藏、大泊、朝日、神威

【浦賀】

阿武隈、驅八

【三津】

夕風、時雨

【大湊】

天津風、日進、天津風

▽潛三九、▽潛三八、▽潛四〇

【函館】

高崎

【小樽】

洲崎

【稚内】

膠州、三日月、夕暮

【村上灣】

濱風、伊勢、霧島、鬼怒、千歲、明石、矢矧、

木曾、勝力、駒橋、球磨

▽追風、初春、彌生、卯見、疾風、▽菊月、

0858

【大阪】

富士、野間、能登呂、劍崎、間宮、室戸、隠戸、

【神戶】

富士、野間、能登呂、劍崎、間宮、室戸、隠戸、

【江田内】

▽八雲、淺間、出雲、陸奥、山城、▽五十鈴、多摩、

夕張、▽天龍、▽迅鯨、常磐、▽金剛、比叡、

▽北上、▽平戸、韓崎、若宮、▽驅一六、▽驅一〇、▽驅一二、▽驅一八、▽萬、

萩、藤、薄、▽谷風、江風、葵、菊、▽驅六、▽驅二、▽驅四、▽驅一、▽野風、沼風、

波風、▽驅三、▽驅五、▽驅七、澤風、峯風、

沖風、▽太刀風、帆風、羽風、秋風、▽潛四七、▽潛五七、▽潛四六、▽潛三〇、

▽潛二九、▽潛二八、▽潛六二、▽潛五九、

▽潛七二、▽潛四四

▽潛一、▽掃二、▽掃三

▽水無月、綾波、磯波、浦波、長月、夕風、

▽波三、▽波四、▽波五、▽波六、

▽波七、▽波八、▽波二七、▽波二五、

▽波三七、▽波二二、▽波二四、▽波三五、

▽波三六、▽波三四、▽波二六、▽波五一、

▽波一八、▽波四五

▽波一五

▽波一〇

▽波七

▽波四

▽波一

▽波一

▽波一

【舞鶴】春日▲ 攝津
 〓榎、海風、山風、檜、樺、驅九、龍田
 【佐世保】吾妻▲、對馬、最上▲、嵯峨▲、龍田
 〓桃、柳、檜、樺、〓樺、榎、竹、梨、
 〓栗、梅、柿、〓葎、菱、蕨、蕨、
 〓藜、〓初雪、若葉、潮、朝風、子日、
 春風、驅一七
 〓潜二一、〓潜四一、〓潜四二、〓潜六九、
 〓潜七一、〓潜四三、〓潜三一、〓潜三三、
 〓潜三二、
 敷島▲、襟裳▲
 【長崎】長鯨 關東
 【古仁屋】蓬
 【馬公】〓松▲、〓柏▲、〓杉▲、〓榎▲
 【鎮海】桂
 【清津】大和
 【旅順】〓桐、〓樺、〓櫻、〓橘
 【曹津島】〓泥、〓松江
 【亞港】〓夕立、〓白霧
 栗橋
 【上海】〓利根、〓比良、〓壘田
 【漢口】〓安宅、〓勢多
 【長沙】〓隅田

【宜昌】伏見
 【重慶】鳥羽
 【サマラン】大井
 【航海中】
 尻矢 (七日横須賀發—「サンビドロ」)
 知床 (八日佐世保發—桑港へ)
 早鞆 (八日「ホノル」發—徳山へ)
 鶴見 (十日横須賀發—桑港へ)
 石廊 (十二日横須賀發—桑港へ)
 宇治 (十六日漢口發—長沙へ)
 磯風 (十六日單冠灣發)
 葦埼 (十六日亞港發—間宮海峡へ)
 瀨州 (十七日横須賀發—測量地へ)
 〓連 (二十日佐世保發—大島へ)
 〓楓、〓楠 (二十一日西湖津發—鎮海へ)
 保津 (二十一日重慶發—叙州へ)
 佐多 (二十二日舞鶴發—徳山へ)
 梅 (二十二日長箭洞發—竹敷へ)
 〓潜六八 (二十二日基隆發—南灣へ)
 野島 (二十二日西戶崎發—舞鶴へ)
 日向 (二十三日佐伯發—吳へ)

海軍公報 第三五九號 大正十三年七月二十三日 (部内限一頁、同附録三頁) 七七七

0859

海軍公報

第三千五百二十號

大正十三年七月二十四日(木)

海軍大臣官房

大正十三年七月二十四日

海軍公報

○ 辭令

海軍技手 大塚 歳朗
火薬部附ヲ命ス(北門海軍火薬廠)

○ 雜款

○ 郵便物發送先

第二十五潜水隊(第六十八潜水艦)宛

七月二十六日迄ニ到達見込ノモノハ 高 雄

其ノ後ハ 馬 公

特務艦膠州宛

八月二日迄ニ到達見込ノモノハ 小 楢

同 十三日迄ニ同 横 須 賀

其ノ後ハ 小 楢

○ 電報指定

聯合艦隊佐伯灣碇泊中陸上假設電信所設置ニ付同地在泊艦船宛電報ニハ「ハホ」ノ指定ヲ要セス

豫備役海軍大尉正七位勳六等野中善雄大正十三年七月十六日死去セリ

海軍公報 第三五二〇號 大正十三年七月二十四日

七七九

0860

○艦船所在

▲印ハハカス
指定ヲ要セス

○七月二十四日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名、筑摩、千早、碧手、

鳳翔、扶桑、阿蘇

▽樺、椿、楨、桑、▽島風、灘風、汐風、

矢風、▽響、有明、如月、神風、吹雪、

初霜、浦風、▽時津風

▽潜波一、▽潜波二、▽潜波一四、▽潜波一〇、

▽潜波二三、▽潜波二〇、▽潜波一九、▽潜波五八、

▽潜波一、▽潜波二〇、▽潜波一九、▽潜波五八、

【浦賀】

阿武隈、驅八

【三津】

夕風、時雨

【大湊】

日進

天津風

▽潜波三九、▽潜波三八、▽潜波四〇

【南館】

高崎

【大泊】

洲崎

【村上】

三日月、夕暮

【奥】

伊勢、霧島、鬼怒、千歳、明石、矢矧、

水倉、駒橋、球磨、日向

▽潜波、初春、彌生、卯月、疾風、▽潜波、

水無月、純正、磯波、浦波、長月、夕風

▽潜波三、▽潜波四、▽潜波五、▽潜波六、
▽潜波七、▽潜波八、▽潜波二七、▽潜波二五、
▽潜波三七、▽潜波二二、▽潜波二四、▽潜波三五、
▽潜波三六、▽潜波三四、▽潜波二六、▽潜波五一、
▽潜波一八、▽潜波四五

野間、能登呂、劍崎、間宮、室戸、隠戸、

富士

富士

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽潜波一五

▽掃一、掃二、掃三

攝津

【舞鶴】春日▲

▽榎、海風、山風、檜、驅九

野島

【佐世保】吾妻▲、對馬、最上▲、嵯峨▲、龍田

▽桃、柳、檜、樅、▽樅、榎、竹、梨

▽栗、榆、梅、柿、▽葦、菱、蕨、薑

▽麥、▽初雪、若葉、潮、朝風、子日

春風、驅一七

潛二一、▽潛四一、潛四二、潛六九

潛七一、潛四三、▽潛三一、潛三三

潛三三

敷島▲、櫛袋▲

【長崎】長鯨

關東

【古仁屋】▽蓮、蓬

【馬公】▽松▲、柏▲、杉▲、榎▲

【海口】▽潛六八

【鎮海】▽榎、楠、桂

【竹敷】梅

【旅順】▽桐、樺、櫻、橘

【青森島】▽淀、松江

【亞港】▽夕立、白露

栗橋、葦崎

【上海】△利根、比良、堅田

【漢口】安宅、勢多

【長沙】岡田

【宜昌】伏見

【重慶】鳥羽

【サマラン】大井

【航海中】

尻矢 (七日横須賀發—「サンビドロ」へ)

知床 (八日佐世保發—桑港へ)

早朝 (八日「ホルル」發—徳山へ)

鶴見 (十日横須賀發—桑港へ)

石廊 (十二日横須賀發—桑港へ)

宇治 (十六日漢口發—長沙へ)

磯風 (十六日單冠灣發)

滿州 (十七日横須賀發—測量地へ)

保津 (二十一日重慶發—叙州へ)

大和 (二十三日清津發—舞鶴へ)

膠州 (二十三日小樽發—亞港へ)

海軍公報

第三千五百二十一號

海軍大臣官房

大正十三年七月二十五日(金)

大出

○辭令

東京高等師範學校教授 永岡 秀一
海軍兵學校ニ於ケル柔道教授ヲ囑託ス(七月二十五日海軍省)

○雜款

○郵便物發送先
特務艦野鳥宛

七月三十一日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保
八月七日迄ニ同 新舞鶴
其ノ後ハ 吳

○特務艦野鳥行動豫定變更(六月十七日)
(本欄参照)

地 名	着	發
西 戸 崎	七月二十三日	七月二十二日
舞 鶴	二十七	二十六日
鎮 海	二十九日	二十八日
佐 世 保		八月一日

長 崎	八月一日	三日
舞 鶴	五日	八日
杵 築	九日	十日
吳	十日	九日

豫備役海軍中佐從五位勳四等功四級大金寶大正十三年七月十九日卒去セリ

○正誤

本月十八日辭令欄中海軍省事務囑託高妻直道ノ官名
遞信書記官ハ遞信局事務官ノ誤
本月二十四日公報七八一頁欄外中「(部内限ナシ)」ハ
「(部内限號外五頁)」ノ誤

海軍公報 第三五二一號 大正十三年七月二十五日

七八三

0863

○艦船所在

印ハハホセ

○七月二十五日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名、筑摩、千早、磐手、
風翔、扶桑、阿蘇

矢風、櫻、有明、如月、神風、吹雪、
初霜、浦風、驅八

浦波一、浦波二、浦波三、浦波四、浦波五、浦波六、浦波七、浦波八、浦波九、浦波十、浦波十一、浦波十二、浦波十三、浦波十四、浦波十五、浦波十六、浦波十七、浦波十八、浦波十九、浦波二十、浦波二十一、浦波二十二、浦波二十三、浦波二十四、浦波二十五、浦波二十六、浦波二十七、浦波二十八、浦波二十九、浦波三十、浦波三十一、浦波三十二、浦波三十三、浦波三十四、浦波三十五、浦波三十六、浦波三十七、浦波三十八、浦波三十九、浦波四十、浦波四十一、浦波四十二、浦波四十三、浦波四十四、浦波四十五、浦波四十六、浦波四十七、浦波四十八、浦波四十九、浦波五十、浦波五十一、浦波五十二、浦波五十三、浦波五十四、浦波五十五、浦波五十六、浦波五十七、浦波五十八、浦波五十九、浦波六十、浦波六十一、浦波六十二、浦波六十三、浦波六十四、浦波六十五、浦波六十六、浦波六十七、浦波六十八、浦波六十九、浦波七十、浦波七十一、浦波七十二、浦波七十三、浦波七十四、浦波七十五、浦波七十六、浦波七十七、浦波七十八、浦波七十九、浦波八十、浦波八十一、浦波八十二、浦波八十三、浦波八十四、浦波八十五、浦波八十六、浦波八十七、浦波八十八、浦波八十九、浦波九十、浦波九十一、浦波九十二、浦波九十三、浦波九十四、浦波九十五、浦波九十六、浦波九十七、浦波九十八、浦波九十九、浦波一百

浦波一、浦波二、浦波三、浦波四、浦波五、浦波六、浦波七、浦波八、浦波九、浦波十、浦波十一、浦波十二、浦波十三、浦波十四、浦波十五、浦波十六、浦波十七、浦波十八、浦波十九、浦波二十、浦波二十一、浦波二十二、浦波二十三、浦波二十四、浦波二十五、浦波二十六、浦波二十七、浦波二十八、浦波二十九、浦波三十、浦波三十一、浦波三十二、浦波三十三、浦波三十四、浦波三十五、浦波三十六、浦波三十七、浦波三十八、浦波三十九、浦波四十、浦波四十一、浦波四十二、浦波四十三、浦波四十四、浦波四十五、浦波四十六、浦波四十七、浦波四十八、浦波四十九、浦波五十、浦波五十一、浦波五十二、浦波五十三、浦波五十四、浦波五十五、浦波五十六、浦波五十七、浦波五十八、浦波五十九、浦波六十、浦波六十一、浦波六十二、浦波六十三、浦波六十四、浦波六十五、浦波六十六、浦波六十七、浦波六十八、浦波六十九、浦波七十、浦波七十一、浦波七十二、浦波七十三、浦波七十四、浦波七十五、浦波七十六、浦波七十七、浦波七十八、浦波七十九、浦波八十、浦波八十一、浦波八十二、浦波八十三、浦波八十四、浦波八十五、浦波八十六、浦波八十七、浦波八十八、浦波八十九、浦波九十、浦波九十一、浦波九十二、浦波九十三、浦波九十四、浦波九十五、浦波九十六、浦波九十七、浦波九十八、浦波九十九、浦波一百

【浦賀】

阿武隈、
夕風、時雨

【戸田】

日進、
天津風

潜三九、潜三八、潜四〇

高崎

【大泊】

三日月、夕暮

【村上灣】

濱風、
伊勢、霧島、鬼怒、千歲、明石、矢矧、
木曾、駒橋、球磨、韓崎

伊勢、霧島、鬼怒、千歲、明石、矢矧、
木曾、駒橋、球磨、韓崎

水無月、綾波、浦波、長月、夕風、
潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、

【大阪】

驅一五、
神通

【神戶】

潜七〇、潜八四

【佐伯】

長門、陸奥、日向、山城、五十鈴、
多摩、夕張、天龍、迅鯨、常磐、
金剛、比叡、由良、名取、長良、
川内、北上、平戸、若宮、勝力、
驅一六、驅一〇、驅一二、驅一八、驅一、
萩、藤、薄、谷風、江風、葵、菊、
驅六、驅二、驅四、驅一、野風、沼風、
波風、驅三、驅五、驅七、濠風、峯風、
沖風、大刀風、帆風、羽風、秋風、
潜四七、潜五七、潜四六、潜三〇、
潜二九、潜二八、潜六二、潜五九、
潜七二、潜四四

【舞鶴】

春日、
攝津

【舞鶴】

春日、
攝津

【舞鶴】

春日、
攝津

【舞鶴】

春日、
攝津

【舞鶴】

春日、
攝津

【舞鶴】

春日、
攝津

【舞鶴】

春日、
攝津

【舞鶴】

春日、
攝津

【舞鶴】

春日、
攝津

【舞鶴】

春日、
攝津

【佐世保】野島
 吾妻▲、對馬、最上▲、嵯峨▲、龍田
 区桃、柳、檜、樅、区樅、榎、竹、栗、
 区栗、榆、梅、柿、区葦、菱、蕨、蕁、
 麥、区初雪、若葉、湖、朝風、子日、
 春風、區一七
 潜二一、区潜四一、潜四二、潜六九、
 潜七一、潜四三、区潜三一、潜三三、
 潜三二
 敷島▲、襟裳▲
 【長崎】長鯨
 【馬公】区松▲、柏▲、杉▲、榲▲
 【高雄】区潜六八
 【鎮海】区楓、楠、桂
 【旅順】区桐、樺、櫻、橘
 【唐津島】淀、松江
 【亞港】区夕立、白露
 栗橋、葦崎
 【上海】区利根、比良、堅田
 【漢口】安宅、勢多
 【長沙】岡田
 【宜昌】伏見
 【重慶】鳥羽
 【サマラン】大井

【航海中】
 尻矢 (七日横須賀發「サンビドロ」)
 知床 (八日佐世保發「桑港」)
 早稲 (八日「ホノルル」發「徳山」)
 鶴見 (十日横須賀發「桑港」)
 石廊 (十二日横須賀發「桑港」)
 宇治 (十六日漢口發「長沙」)
 磯風 (十六日單冠灣發)
 滿州 (十七日横須賀發「測量地」)
 保津 (二十一日重慶發「叙州」)
 大和 (二十三日清津發「舞鶴」)
 膠州 (二十三日小樽發「亞港」)
 八雲、淺間、出雲 (二十四日江田内發「臼杵」)
 区運、蓬 (二十四日古仁屋發「佐世保」)
 区時津風 (二十四日横須賀發「大湊」)
 梅 (二十四日竹敷發「鎮海」)
 磯波 (二十四日吳發「佐伯」)
 潜七三 (二十四日神戸發「吳」)
 潜四五 (二十四日吳發「佐伯」)
 佐多 (二十四日徳山發「佐世保」)
 關東 (二十四日長崎發「吳」)
 洲崎 (二十四日函館發「オハ」)
 神威 (二十四日横須賀發「サンペドロ」)

海軍公報 第三五二二號 大正十三年七月二十五日 (附録六頁、部内限二頁) 七八五

0865

海軍公報 附錄

海軍大臣官房

大正十三年七月二十五日(金)

第四十三潜水艦殉職者義捐金計算書

一金壹萬參百參拾七圓八拾七錢

受

高

内 譯

金額	出捐者	金額	出捐者	金額	出捐者	金額	出捐者
四三〇	侍從武官	一七九〇	海軍省經理局 三課	五三〇	東京海軍無線電信所	五九〇	橫須賀海軍港務部
四〇〇〇	東宮武官	八四〇〇	同 建築局	一八〇	海軍臨時適性検査研究所	二七〇	同 橫須賀海軍人事
一五二〇	海軍大臣官房	八四〇	同 法務局	三三〇	海軍武功調査所	三三四	同 橫須賀海軍軍需
一八三〇	海軍省軍務局	二〇二八〇	海軍軍令部	三三〇	海軍火藥廠	六三〇	同 橫須賀海軍工廠
二七五〇	同 人事局	一四八九〇	海軍艦政本部	五四〇	海軍火藥廠爆藥部	五九〇	同 橫須賀海軍刑務
一八一〇	同 教育局	一三三〇〇	海軍艦政本部 第一部第二課	六二〇	海軍燃料廠探炭部	六〇〇	同 建築部
二六〇	同 機關局	三〇三〇	水 路 部	一九〇〇	橫須賀鐵甲隊	三三〇〇	同 航空隊
二七六〇	同 軍需局	七五〇	海軍技術研究所	七五〇	橫須賀粉備隊	三三〇〇	同 橫須賀海軍訓練部

海軍公報 附錄

二

0866

三六〇〇	吳鎮守府	五六〇	海軍平壤鐵業所	二〇〇〇	佐世保鎮守府無線電信所	三九六〇	大湊防備隊
四三〇〇	同 文庫	三〇〇〇	佐世保鎮守府	四八〇〇	大村航空隊	二七四〇〇	馬公要港部
五五七〇	同 軍法會議	六三三〇	同 文庫	二六九〇	東京海軍監督官	三三六七〇	馬公防備隊
五〇四〇	吳海兵團	九三三〇	同 軍法會議	三〇〇〇	室蘭 同	三六六〇	鎮海要港部
四三二〇	吳防備隊	三三二〇〇	佐世保海兵團	六四三〇	浦賀 同	五七三〇	同 港務部
三〇二〇	吳海軍港務部	六〇〇〇	佐世保防備隊	一四三〇	大阪 同	四二二〇	鎮海防備隊
二〇三〇〇	同 人事部	二六八〇	佐世保海軍港務部	二七〇〇	神戸 同	四八五〇	旅順防備隊
八二四〇	同 經理部	一七三〇	同 人事部	二七〇〇	八幡 同	一五九〇	樺太臨時防備隊
一三〇〇〇	同 建築部	二〇六四〇	同 經理部	一四三〇	長崎 同	一四四〇〇	霞ヶ浦海軍航空隊
八九〇〇	同 建築部 舞鶴出張所	四三六〇	同 軍需部	一〇四七〇	舞鶴海軍港務部	三三三〇	父島海軍無線電信所
四〇九〇	同 病院	四九五〇	同 建築部	三三三〇	舞鶴防備隊	三〇〇〇	臺北駐在海軍武官
一五〇〇〇	同 工廠	三三七〇	同 病院	一〇六三〇	舞鶴要港部軍需部	三八〇〇	宗谷無線電信所
三三〇〇	同 刑務所	四九四三〇	同 工廠	三三八〇〇	同 工作部	五二三〇	船橋無線電信所
五六四〇	廣海軍工廠	六六〇〇	同 刑務所	七五〇	同 病院	七九六〇	鳳山海軍無線電信所
三八〇〇	海軍燃料廠	四三三〇	同 航空隊	三三八〇	大湊要港部	九九七〇	湊海軍病院

一七二〇〇	同	比叡	五七六〇	同	由良	四七〇〇	同	春日	四六〇〇	同	艦
一七四〇〇	同	陸奥	三三〇〇	同	五十鈴	六三三〇	同	入雲及 練習艦隊司令部	一〇六五〇	同	鳥羽
二〇五七〇	同	長門	三三二〇	同	長良	五〇九〇	同	出雲	八三九〇	同	隅田
九五三〇	同	日向	三九六〇	同	木曾	四三三〇	同	吾妻	一六三〇	同	宇治
八三四〇	同	伊勢	七三〇〇	同	北上	六六六〇	同	磐手	三三九〇	同	安宅
五〇〇〇	同	山城	四八八〇	同	球磨	三六四〇	同	浅間	七二七〇	同	千早
六七八〇	軍艦	扶桑	三九四〇	同	大井	五四〇〇	同	常磐	一五五〇	同	最上
五七三〇	同	潜水學校	四九四〇	同	多摩	一五九五〇	同	勝力	一九六〇	同	松江
三三〇五〇	同	水雷學校	三五四〇	同	龍田	一三二〇	同	迅鯨	一九六〇	同	淀
一三九八〇	同	砲術學校	一六七〇	同	天龍	五六〇	同	駒橋	三六六〇	同	明石
五三七〇	同	經理學校	三五九〇	同	矢矧	一四七〇	同	韓崎	二九五〇	同	千歳
三三二〇	同	軍醫學校	六三三〇	同	平戸	五〇〇	同	神通 (機裝員)	五八九〇	同	利根
二〇二〇	海軍	兵學校	五〇九〇	同	筑摩	四七二〇	同	夕張	三三〇〇	同	滿州
四九四〇	海軍	機關學校	一〇二五〇	同	霧島	五三五〇	同	川内	四七四〇	同	阿蘇
一四二七〇	海軍	大學校	五四三〇	軍艦	榛名	四八六〇	軍艦	鬼怒	三三〇〇	軍艦	日進

0868

内 譯

一金六千八百四圓四拾錢

拂 高

一九四〇	特務艦 佐多	二二六〇	同	武藏	一〇〇〇〇	東京市麻布區笹竹町 宮崎甚左衛門	三〇〇〇	岩手縣新井郡大瀨郡 水駐在所
二六九七〇	同 神威	三六〇〇	同	攝津	五〇〇〇	神奈川縣鎌倉町 山中 迦治	二〇〇〇	佐世保市松川町 佐世保海軍少佐 市原 近作
二五三〇	同 尻矢	一九〇〇	同	敷島	四三三〇	佐世保市役所取扱 市内一般義捐金	三〇〇〇	佐賀縣佐賀郡南川副村 大井道 青年團
二四一〇	同 鶴見	五八〇〇	同	大泊	二六〇〇	福岡縣遠賀郡香 月村大辻 有志	五五〇〇	大阪府泉南郡貝 塚町 北觀音講
三三四〇	同 隱戸	三三〇〇	第一掃海隊		三〇〇〇	長崎縣東彼杵郡日宇村 青年團 女團	五〇〇〇	姫路輕重兵第十 大隊第二中隊某
二五八五〇	同 朝日	二〇〇〇	東京古川鑛業會 社 熊崎 良		二〇〇〇	福岡縣山川郡後藤寺丸 山町 古賀 萬藏	三〇〇〇	佐世保市島ノ瀬 町 中野商店
九八九〇	同 大和	四〇〇〇	清水市静岡實業商會 船ヲフ會 有志		一〇〇〇	千葉縣酒々井町 青年會員	一〇〇〇	軍艦 吾妻 機關兵一同
一〇一〇	同 膠州	三〇〇〇	豫備海軍少佐 杉浦 四郎		二〇〇〇	帝國軍人後援會	一〇〇〇	
一〇一三〇	同 青島	五〇〇〇	東京丸ノ内ビルヂイ ンク内 豫備海軍少佐 隱岐 敬次郎		六〇〇〇	山口縣下松町日立製 作所 倉松 佐治郎 外二十九名	一五〇〇	佐世保軍港會
二二〇四〇	同 富士	二二〇〇	兵庫縣兵庫下澤通 吉田キツ 外一名		七三〇〇	佐世保海軍人事務取扱 一般 義捐金	三五〇〇	義捐金預入利子
一四六〇	同 間宮艦裝員	一〇〇〇	福岡縣粕屋郡海軍燃 料廠探査部内		七〇〇〇	和歌山縣海津郡富前村 飯村保秀 外一名		
三三七〇	同 早鞆		福岡海軍親交會支部					

0870

金額	事	項
六、七五〇、〇〇〇	殉職者遺族四十五名ニ對スル弔慰金	(一人宛 一五〇、〇〇〇)
五四四、〇〇〇	送金手数料、通信費	

差引殘金參千五百參拾參圓四拾七錢 (追テ遺族ニ分配)

右ノ通ニ候也

大正十三年七月十日

第四十三潜水艦殉職者弔慰金募集發起者

0871

海軍公報

第三千五百二十二號

海軍大臣官房

大正十三年七月二十六日(土)

(天)

○ 通牒

海人三第四四號

大正十三年七月二十六日

海軍省人事局長 山梨勝之進

各 廳 長 殿

漁業用無線電信ニ關スル件

本年六月遞信省令第二十九號(六月廿日) (官報所載)ヲ以テ私設無線電信通信従事者資格檢定期則改正セラレ新ニ漁船級資格ヲ設ケラレ候處本資格檢定ニ付テハ海軍水雷學校普通科電信術練習生教程ヲ卒業シ二年以上無線通信ノ實務ニ従事シタル者ハ銓衡ニ依リ該資格ヲ認メラルヘキ旨遞信省通信局長ヨリ通知有之候
右申進ス

○ 辭令

海軍公報 第三五三二號 大正十三年七月二十六日

研究部勤務ヲ命ス(註)海軍技術研究所

海軍造兵大尉 杉山 金作

○ 雜 款

○司令潜水艦指定

第二十五潜水艦司令ハ本月二十日司令潜水艦ヲ第六十八潜水艦ニ指定セリ

○公用書類發送先

東宮武官宛

七月二十九日ヨリ當分ノ間

福島縣耶麻郡翁島村高松宮御別邸内

七八七

0872

○艦船所在

▲印ハハ★
指定ヲ要セス

○七月二十六日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名、筑摩、千早、磐手、
風翔、扶桑、阿蘇

▽藤、椿、榎、桑、▽島風、濰風、汐風、
矢風、▽響、有明、如月、神風、吹雪、
初霜、浦風、夕風、時雨、驅八

▽潜波一、潜波二、潜一四、潜波一〇、
▽潜二三、潜二〇、潜一九、潜五八

鳴戸、青島、武蔵、大泊、朝日

【浦賀】

阿武隈

日進

【大湊】

天津風

▽潜三九、潜三八、潜四〇

【大泊】

三日月、夕暮

【吳】

伊勢、霧島、鬼怒、千歳、明石、矢矧、
木曾、駒橋、球磨

▽追風、初春、彌生、卯月、疾風、▽菊月、
水無月、磯波、浦波、長月、夕風、羽風、
秋風

▽潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、
▽潜波七、潜波八、▽潜二七、潜二五、
▽潜三七、潜三二、潜二四、▽潜三五、

【大阪】

富士 野間、能登呂、劍崎、間宮、室戸、隠戸、
富士

【神戸】

▽潜七〇、潜八四

【白樺】

▽八雲、淺間、出雲

【佐伯】

▽長門、陸奥、日向、山城、▽五十鈴、
多摩、夕張、▽天龍、▽迅鯨、常磐、
▽金剛、比叡、▽由良、名取、長良、
川内、▽北上、▽平戸、若宮、勝力

【舞鶴】

▽春日、
萩、藤、薄、▽谷風、江風、葵、菊、
▽驅六、驅二、驅四、▽驅一、野風、沼風、
波風、▽驅三、驅五、驅七、澤風、峯風、
沖風、▽太刀風、帆風

【舞鶴】

▽潛四七、潛五七、潛四六、▽潛三〇、
▽潛二九、潛二八、▽潛六二、潛四五、
▽潛五九、潛七二、潛四四

【舞鶴】

▽掃一、掃二、掃三

【舞鶴】

攝津

【舞鶴】

▽櫻、海風、山風、檜、驅九

【舞鶴】

野島

0873

【佐世保】吾妻▲、對馬、最上▲、嵯峨▲、龍田
 □桃、柳、檜、櫻、□樅、榎、竹、梨、
 □栗、檜、梅、柿、□草、菱、蕨、菫、
 麥、□初雪、若葉、潮、朝風、子日、
 春風、福一七
 潜二、□潜四一、潜四二、潜六九、
 潜七一、潜四三、□潜三一、潜三三、
 潜三三
 敷島▲、櫛袋▲、佐多
 【長崎】長鯨
 【馬公】□松▲、柏▲、杉▲、榎▲
 【高雄】□潜六八
 【鎮海】□楓、楠、桂
 【旅順】□桐、樟、櫻、橘
 【南洋群島】淀、松江
 【亞港】□夕立、白霧
 膠州、栗橋、葦埼
 【オセルナヤ】磯風
 【上海】□利根、比良、堅田
 【漢口】安宅、勢多
 【長沙】隅田
 【宜昌】伏見
 【重慶】鳥羽
 【サマラン】大井

【航海中】

尻矢 (七日横須賀發—「サンビドロ」へ)
 知床 (八日佐世保發—桑港へ)
 早柄 (八日「ホノルル」發—徳山へ)
 鶴見 (十日横須賀發—桑港へ)
 石廊 (十二日横須賀發—桑港へ)
 宇治 (十六日漢口發—長沙へ)
 滿州 (十七日横須賀發—測量地へ)
 保津 (二十一日重慶發—叙州へ)
 大和 (二十三日清津發—舞鶴へ)
 大連、蓬 (二十四日古仁屋發—佐世保へ)
 □時津風 (二十四日横須賀發—大湊へ)
 梅 (二十四日竹敷發—鎮海へ)
 關東 (二十四日長崎發—吳へ)
 洲崎 (二十四日函館發—「オム」へ)
 神威 (二十四日横須賀發—「サンベドロ」へ)
 韓崎、綾波 (二十五日吳發—佐伯へ)
 濱風 (二十五日「オセルナヤ」發—ウスチカム
 チャツカ)へ)
 高崎 (二十五日大湊發—西戶崎へ)

海軍公報

第三千五百二十三號

海軍大臣官房

大正十三年七月二十八日(月)



○令 達

官房第三三九九號

來ル三十日明治天皇御例券ニ付在京諸官ハ當日左ノ通心得ヘシ

大正十三年七月二十六日

海軍大臣 財 部 彪

一、午前八時四十分賢所參集所ハ參集スヘキ者

親任官 勅任官 同待遇

二、正午ヨリ午後一時迄ニ參拜スヘキ者

奏任官同待遇並列任官以下ニシテ位勳ヲ有スル者

三、午後一時ヨリ同二時迄ニ參拜スヘキ者

位勳ヲ有セサル列任官同待遇

參入路 宮城正門又ハ半藏門(人力車乗用ノ

節ハ半藏門ニ限ル)

○通 牒

經豫第四五六號

大正十三年七月二十八日

海軍省經理局長 深水貞吉

各支出官殿

囑託者ニ關スル件

豫算統理上必要ニ付自今年六月三十日現在ノ囑託者ヲ左記ニ依リ翌月十五日迄ニ報告相成度

右照會ス

追テ此際差當リ必要ニ付本年六月三十日現在ニテ至急報告相成度

囑 託 者 調 年 月 日現在

支辨科目採用 (款項)年月日	囑託事項	報酬金待遇	氏 名

海軍公報 第三五二三號

大正十三年七月二十八日

七九

0875

備考

- 一、支辨科目毎ニ別紙ニ報酬金及人員ノ計ヲ掲記
シテノト
- 二、報酬金ハ年額ヲ掲記ノコト但其ノ一定セザ
ルモノニシテ前年度ニ於テ贈與シタルコトア
ルモノハ其ノ金額其ノ他ノモノハ豫定額ヲ掲
記スルモノトス

○ 辭令

海軍造兵大尉 杉山 金作
第二部第一課勤務ヲ命ス(七二四海軍艦政本部)

○ 雜款

○郵便物發送先
驅逐艇夕風宛
備分ノ間

吳

○電話番號變更

青山 五五三番 海軍省建築局長 眞島健三郎

0876

○艦船所在

指定ヲ要セス

○七月二十八日午前十時調

【横須賀】

加賀、榛名、筑摩、千早、磐手、

風翔、瀨州、扶桑、阿蘇

区樺、楢、榎、桑、区島風、灘風、汐風、

矢風、区響、有明、如月、神風、吹雪、

初霜、浦風、夕風、時雨

潜波一、潜波二、潜一四、潜波一〇、

区潜二三、潜二〇、潜一九、潜五八

鳴戸、青島、武蔵、大泊、朝日、富士

【浦賀】

阿武隈

【大湊】

目進

区時津風、天津風

区潜三九、潜三八、潜四〇

【真岡】

区三日月、夕暮

【吳】

伊勢、霧島、鬼怒、千歳、明石、矢矧、

木曾、勝力、駒橋、球磨、区平戸、

区追風、初春、彌生、卯月、疾風、区菊月、

水無月、綾波、磯波、浦波、長月、

夕風、羽風、秋風

潜波三、潜波四、潜波五、潜波六、

潜波七、潜波八、区潜二七、潜二五、

区潜三七、潜二二、潜二四、区潜三五、

【大阪】

区神一五

【神戸】

神通、潜七〇、潜八四

【徳山】

山口金剛、比叡、区由良、名取、長良、

【別府】

早稲

【佐伯】

区長門、陸奥、日向、山城、区五十鈴、

【多摩】

多摩、夕張、区天龍、区迅鯨、常磐、

【北上】

若宮

【秋田】

区藤、薄、区谷風、江風、葵、菊、

【波風】

区野風、野風、沼風、

【沖風】

区大刀風、帆風

【潜四七】

潜四七、潜五七、潜四六、区潜三〇、

【潜二九】

潜二九、潜二八、潜四四

【掃一】

区掃一、掃二、掃三

【舞鶴】

春日

【大和】

区榎、海風、山風、檜、区驅九

【佐世保】

吾妻、對馬、最上、嵯峨、龍田

海軍公報 第三五三三號

大正十三年七月二十八日

七九三

0877

区桃、柳、檜、櫻、区樺、榎、竹、梨、
 区栗、梅、柿、区草、蕨、蘆、蓮、
 区蓮、菖、区初雪、若葉、朝、朝風、
 子日、春風、區一七
 潜三一、区潜四、潜四三、潜六九、
 潜七一、潜四三、区潜三二、潜三三、
 潜三二
 敷島、樟葉、佐多
 【長橋】長藤
 【馬公】松、柏、杉、
 区潜六八
 【鏡海】区楓、楠、桂、梅
 【旅順】区桐、樟、櫻、橘
 【南津島】淀、松江
 【區港】区夕立、白霧
 藤州、櫻橋、蒼崎
 【オセルナヤ】磯風
 【上海】比良、盛田
 【漢口】安宅
 【真砂】隅田
 【宜島】伏見
 【重慶】鳥羽
 【サンペドロ】尻矢

【航海中】
 知床 (八日佐世保發—桑港)
 鶴見 (十日横須賀發—桑港)
 石廊 (十二日横須賀發—桑港)
 宇治 (十六日漢口發—長沙)
 保津 (二十一日重慶發—叙州)
 洲崎 (二十四日函館發—オハ)
 神威 (二十四日横須賀發—サンペドロ)
 濱風 (二十五日「オセルナヤ」發—ウネチカム
 チャツカ)
 高崎 (二十五日大漢發—西月崎)
 勢多 (二十五日漢口發)
 利根 (二十六日上海發—大沽)
 室戸 (二十六日吳發—横須賀)
 八雲、淺間、出雲 (二十七日白杵發—佐世保)
 大井 (二十七日「サマラン」發—「マカツター」)
 韓崎、区潜六二、潜四五、区潜七二、潜五九 (二
 十七日佐伯發—別府)
 彌八 (二十七日横須賀發—多度津)

(辭内限ナシ)